

酸素アセチレン使用の鋼溶接用合金

薄板、自動車ボディ、肉薄パイプなどの溶接用として耐酸化性被覆した銅合金です。

多用途の合金で、高力の厚い溶接部が得られ、速やかに流動します。

次のような特徴があります。

- ★溶接部は鋼と同じ膨脹係数をもっているため、ペンキやエナメルがふくれたり、はげたり、離しょうすることがありません。
- ★溶接特性は特に優れ、自由に流動し、ブローホールやヒュームの発生がありません。
- ★薄板の接合とか穴埋めに最適です。
- ★耐酸化性被覆のため、貯蔵寿命が長い。
- ★溶着金属は軟かく、砂ややすりでの研磨が容易。
- ★溶着金属は極めて延性に富んでいます。
- ★鋼と同じ色のため、溶接後、見別けることができません。



マグナ31は、完ぺきの薄板溶接用合金です。

製品概要：マグナ31

この製品はスチールと色、重量、膨脹率、伸びを持っており、使用し易く、優れた溶着部が得られるようにデザインされています。自動車板金、鋼板、薄い構造物及びパイプに特に向いています。

1. 鋼板で最高の結果が得られます：マグナ31はろう棒では無く、スチールの溶着部を残します。この溶着部はスチールと似た性状を持っています。この製品はスチールと同じ膨脹率、伸び率、色、耐熱性を持っています。ペンキ、エナメル、高温下でエナメル・ガラスなどを塗ることができ、その後で塗装が膨らんだり、しみ出てきたり、流れたりする事はありません。ペンキはマグナ31に完全に密着します。この棒は自己濡れ性をもっているため、フラックスが必要無く従ってペンキに影響を及ぼすことがないのです。

2. 使い易さ：マグナ31は非常に使い易く、ヒュームが出たり、ピンホールが出たりすることも無く、非常に流れ易くなっています。マグナ31はグリースが付いていたり、ペンキが塗ってあったり、錆びていても溶接前にきれいにする必要はありません。

3. 窒素や水素による硬化がありません：マグナ31は母材の窒素や水素と結合し、それらの硬化をもたらすガスを溶融金属上に浮かせ空中に放出する働きがあります。溶着部は振動に強くクラックをもたらすことが無くより密度の高い溶着部が得られます。

4. 長期保存可能：マグナ31は保存期間中に腐蝕したり酸化しないような特殊な工程を経て製造されています。更にこの工程は棒の流動性を高め、表面の張力を抑えることによってより平らでスムーズなビードが引けることを可能にしています。

使用手順：マグナ31

マグナ31はフラックス無しで汚れたり、オイルが付いていたり、錆びているスチールを溶接することができます。

正しい火口を選定したら、炎を中性炎に調整して下さい。

多くの熱は必要ありません。溶接を始める部分に赤黒くなるまで熱を掛けて下さい。次にマグナ31を載せ母材と溶かし合わせて下さい。この場合溶接する母材の両方に同じ熱が掛かるようにして下さい。

接合部が長い場合は、一定間隔で仮付けしてから溶接を始めると良い結果が得られます。

薄いものを溶接する際は、溶け落ちを防ぐために素早く溶接して下さい。

表面を滑らかにしたい場合は、サンダーやバフで仕上げして下さい。

☐溶接後研磨すると、鋼と同色のため溶接後、見別けることができません。

※☐アルゴンアーク（TIG）でも使用できます。

使用方法は、通常のTIGと同じです。

マグナTIG使用手順を参考にして下さい。